

社会の“端っこ”を生きる人びとについて考えてみたい方に

マイノリティについて考えてみよう

近年、マイノリティという言葉に触れる機会が増えていますが、そもそもマイノリティとはどんな存在なのかでしょうか。マイノリティが置かれている関係性や場所を確認したうえで、「数が少ない」という見方におさまりきらない彼／彼女たちの可能性についても考えてみたいと思います。

崔 博 憲 教授

●出張講義分野

マイノリティ、移民・外国人労働者、在日韓国朝鮮人、タイ山地民

●研究分野のキーワード

マイノリティ、他者、移動

●専門分野

マイノリティ論、社会学、人類学



大学ではこんなことを研究しています

主に移民・外国人労働者、タイ山地民、在日韓国朝鮮人に注目しながら、現代を生きるマイノリティについて研究をしています。とくに近年はグローバル化による新自由主義の拡大とそれへの対抗がせめぎ合うなかで移動という視点からマイノリティについて考えています。

先生からメッセージ

勉強の一義的な目的は、「常識」「当たり前」「普通」を獲得することです。卒業後、社会で活躍するために、ぜひそれらを身に付けてください。しかし大学とは「常識」「当たり前」「普通」がどのように生み出されてきたのかを理解し、それらを「常識」「当たり前」「普通」のままにしておいてよいのかを考える場所でもあります。そうした学びから得られたものをみなさんが新たに創る社会の礎にしてもらえればと思います。

略歴 大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。博士(文学)。

民間企業、NGO、チュラロンコン大学、京都大学、広島国際学院大学、東北文化学園大学を経て、2026年4月より現職。